

令和5年度



しんまち保育園

7月は「文月(ふみづき・ふづき)」とも言います。稲穂が実る月「穂含月(ほふみづき)」が変化したという説や、七夕の時期に短冊に詩歌をしたためて書の上達を祈る風習からなど由来は諸説あるようです。子どもたちにも由来や風習について伝えていきたいと思えます。

今年もしんまち保育園の小さな畑には、きゅうり、なす、ピーマン、トマト等が実り始めました。子ども達を中心となって水やりや収穫を楽しんでいます。自分達で育てた野菜の味は特別なようで、野菜の苦手な子ども達も積極的に食べようとする姿が見られています。栽培、収穫を通し、食べ物への興味関心を持ってほしいです。

暑さに慣れていないこの時期は、熱中症のリスクも高いと言われています。睡眠と栄養、そして水分補給をしっかり行い、熱中症予防もしていきましょう。



保育目標

- ☆ 夏の健康に必要な習慣を身につける。
- ☆ 水あそびを楽しむ。



保育行事

- 身体測定 (3、4、5歳児)
- 身体測定 (0、1、2歳児)
- 七夕集会
- 避難訓練
- 体操教室 (4、5歳児)
- 夏祭り (全園児)
- (保護者の方と一緒に参加して下さい)
- おはなしコロリン
- 合同交通安全誘拐防止指導
- 誕生会



- *毎週1回 清潔検査・交通安全誘拐防止指導
- *毎月1回 園庭石拾い・砂場整備

8月の予定

- 陸奥部屋力士との交流会
- 水閉まい





おしらせ・おねがい

- ☆ 保育参観・個別懇談にご協力いただきありがとうございました。今後の参考にさせていただきます。
- ☆ 駐車スペースが限られているため、送迎の際には遊ばないで帰りましょう。
- ★ 保育料の納入期限《7月31日(月)》を守りましょう。保育料の引き落とし日前に**残金の確認**をお願いします。



気をつけて!!流行っています

「ヘルパンギーナ」に **注意**

のどの奥に水ぼうがができる「ヘルパンギーナ」がはやっています。夏かぜの一種でそれほど心配はありませんが、のどの痛みが強く、食事や水分がとりにくくなるのが特徴。高熱が3日以上続いたり、水分をとれなかったりするときは、急ぎ病院へ。

症状

- 38～40℃の高熱が2～3日続く
- のどの奥に白いぶつぶつができる
- のどの痛み
- 食欲不振 など

ケア

- かぜと同じケア
- こまめな水分補給
- 薄味のスープや豆腐、プリンなど、のどごしと消化のよい食事



! 熱が下がって1日以上たち、いつもどおり食事ができるまでは、園をお休みしましょう。

ヘルパンギーナにかかったら……

まず水分補給!

ヘルパンギーナは、突然の発熱があり、のどの奥に水ぼうがができる病気。のどの痛みが強いので、ミルクや離乳食を嫌がる場合があります。こまめに水分補給をして脱水に注意してください。



水分はスプーンでひと口ずつ

コップやストローを嫌がるときは、スプーンでひとさじずつあげると、飲みやすくなります。



離乳食は一段階前の物を

やわらかく煮て、のどごしのよい物をあげましょう。一段階前の離乳食にすると、食べやすくなります。



痛みが強くて、水分をまったく飲めないときは病院を受診しましょう。

